

●京都環境フェスティバル 2月1日(土)

京都市伏見区のパルスプラザで開催されました。里山の会では前日に大型の丸机や椅子などと必要な準備物を宵積みをして備えました。1日の天気は優れず雨が心配でブルーシートで慎重に覆いました。当日は8時には軽トラックとそれぞれの自家用車で出発しました。今回初めての展示を発表してくれる中学生二人は8時過ぎに会場前に到着してくれて、荷物待ちの体制で、手際よく運び込んでくれてました。ブースが予定していたものとは大きく違っていたので会場つくりになん少時間がかかりましたが、臨機応変に知恵を働かして良いブースに出来ました。



●松かさツリー製作体験

松かさツリー作りは持ち込んだ大きな丸机が楽しい工作場所の雰囲気となって、通行者が進んで机を囲み、子どもたちが松かさを手に取ってピンセットで色付きの玉(ナンキンハゼの実)を綺麗に並べ付けていました。これまではかなり呼び込みをしなければなりませんでした。今回は自主的な参加で途絶えることが無くにぎやかな一日となりました。子ども達だけでなく年長者たち



にも人気があり、有料で100円という手ごろな値段だったのもよかったのでしょうか。とても忙しい時間帯もありましたが適当な賑わいで楽しい取組でしたとスタッフの方から感想をいただきました。事前に松かさの柱や台付けの準備作業を寒い野原の真ん中で行った苦勞が報われたと喜びを語っておられました。

●竹サインペン製作体験

この日に間に合わせるために木下さんは不自由な親指で苦勞しながら50本の作品を製作していただきました。それまでに竹の浸けペン先の100本の受注が飛び込んできて思っていたよりは製作に時間がかかり大奮闘をしなければいけませんでした。準備した100円の普及品は午前中に完売となってしまう、午後からは胸ポケットに引っ掛ける装置付きの150円のものになってしまいました。昨年は随分呼びかけをして協力を訴えまなければなりませんでした。今回は静かに集まって下さったの取り組みになりました。もう少し派手な宣伝を行えば効果が出ていたのではないかと意見がありました。



●初めて中学生が参加

昆虫観察のポスター展示では多くに関係者に紹介いたしましたが、それぞれ皆さんの反応は、若者たちが自主的に参加してくれる門戸を開いている取組に高い評価がされていました。そして各

種のトンボや蝶々の標本現物には現地に出かけなければ採取できない行動には感心されていましたし、一つ一つの標本にかけた本気度に驚いておられました。2人の中学生が参加していたことが多くの人々に大きな影響を与えたのではないのでしょうか。素晴らしい出来事でした。11月9日に開催される「近畿の子どもの水辺」での活動発表をしてほしいと中辻実行委員長から呼びかけがあり、快く良くお二人共承諾されました。会員の皆様、里山農園などで観察調査活動中のお二人を見かけられましたら激励の声掛けをお願いいたします。



●若手のための生物多様性保全研究会が2月2日(日)玉水浜の木津川広場で開催されました。



この日は1日に続いて雨が降るとの天気予報でしたので大変心配しておりましたが朝方には雨がやんで集合時間の9時半には太陽も顔を出してくれました。前日に環境フェスティバルで使用した椅子と会議机を玉水橋東詰めの会場に椅子を並べて、勉強会場を設置し

ました。開会挨拶に続いて参加者の自己紹介をいたしました。大学生の皆さんは京都大学、龍谷大学、京都工芸繊維大学、京都薬科大学から19人の皆さんがご参加されました。また社会人の皆さんは京田辺市、京都市北区、中京区、右京区からもご参加いただきました。竹門康弘先生の「伝統的河川工法を用いた河川環境の保全」の講義を約1時間30分していただきました。寒い屋外の木津川の堤防の際で参加の皆さんはメモを取るなど目を輝かせて凄い集中力で学習をされました。続いての鋭い質問も沢山され非常に充実した勉強会になりました。そして話題になった竹蛇籠の現物を視察し、設置されている玉水浜に移動して5年前から順次設置した中聖牛を見学し、昨年の将棋頭竹蛇籠水制とそのプールで生き物の調査を実施しました。



●ヤマトサンショウウオ卵囊発見のための調査観察活動

大池上下堰の3ヵ所と池の一か所での産卵調査を1月26日から開始いたしました。今年の冬は寒の入りから大寒になっても本降りの雨が全くなく調査地の水たまりはどんどん水位が下がり2月に入っても雨の気配がなく水のないタマリ状態となっています。4日には導水路の樋に枯葉が落ちてその影響で水が流れなくなってしまうという状態になっています。一日も早く雨がたっぷりと降ってくれることを待っているのです。これまでの観察の結果からみて一番早く卵囊が見つかったのは2月6日で、9日、16日、16日、18日、24日でした。池の周囲にはオスが集結してきているに違いないと思われます。産卵準備が出来たメスが集結して来る時期ですので少し心配になります。



●炭焼き体験の原木を伐採 一窯分の原木が用意できる 2月4日(火)

太田さん、森島さん、大村さん、吉村さんが伐採し、軽トラック2台分を運び出していただき原木の準備ができたと報告をいただきました。生木の乾燥に1ヶ月は必要だとの事ですので間に合うぎりぎりの所でしょうか。これまでは雑種の原木を使つての体験でしたが、今年なクヌギやコナラなどの木炭生産の原木が用意出来ましたのでしっかり生産過程を学べると期待をしています。多くの皆さん方のご参加を期待しています。

着火予定は2月22日(土)に窯詰めをして着火となりますのでよろしくお願いいたします。そして翌日に空気遮断となればいいのですが、……。ご指導を昨年と同様、植西千宇さんをお願いしています。



今後の予定

普賢寺は自然の宝の山

普賢寺の皆さんへ 里山の会からの呼びかけです。地域説明会を開催いたします。ご参加ください。

NPO やましろ里山の会は結成以来29年を迎える事が出来ました。里山農園(水取)で野菜栽培や自然観察調査など、普賢寺の皆さんのご協力とご理解をいただいて活動を続けられて来ました。大変感謝しています。

このたび私たちの得られた**成果発表展示会**を開催させていただきますので、公私ご多忙のところでしょうが一足ご足労をいただければと、ご案内をさせて頂きました。

2025年2月15日(土)10時から16時

展示物

キンラン キンラン ムヨウラン ササユリ シャジクモ
ウバユリ ミドリシジミ タマムシ ルリタテハ アサギマダラ
オオムラサキ クワガタムシ カブトムシ ルリタテハ
ヤマトサンショウウオ イノシシ アライグマ

活動紹介ポスター 10枚

シュタイナー 中学校生の観察記録発表

普賢寺での実績

尾根筋ハイキングコース オオムラサキの発見
京田辺の最高峰 千針山 311m ヤマトサンショウウオの発見
白山山周遊歩道

木津川でイタセンバラ(特別天然記念物)の復活を取組中
木津川で中聖牛や竹蛇で魚の棲み処づくり 4軍16基の設置
打田で木炭(炭焼き作業)の技術展生の取組
主催 NPO やましろ里山の会

事務所 京田辺市田辺深田 15

0774-64-4183 fddb257@yahoo.co.jp

この取り組みの連絡先 普賢寺多々羅区住建寺 森島保さんへお願いします



第27回 自然と環境講演会 子どもは自然の中でぞだつ

3月1日(土) 13:00~16:30

講師 京都大学准教授 浅野 悟史さん

会場 京田辺中央公民館2階 研修室

京田辺市田辺丸山 214

小学校時代からやましろ里山の会 昆虫観察会に参加

「昆虫博士になる」と決意 そして今、を話します

子育て中のお父さん お母さん ご参加ください

プログラム

参加費 無料

1部 やましろ里山の会から学んだこと

2部 今研究していること 環境ものさし

3部 子どもの発表会

主催 やましろ里山の会

共催 ぽればれらんど

申込はHPから



後援 京田辺市教育委員会



多々羅公民館での開催です。
是非お越しください。